



# 新井北小学校



所在地 妙高市栗原4丁目4番1号

電話 72-2503 FAX 72-2933

ホームページ <http://azalea.ac.city.myoko.niigata.jp/arai-ki-s/otayori/>

## 1 学校の概要

- (1) 創立 大正5年8月31日
- (2) 教職員 校長 五十嵐 悟 教頭 寺島 克郎  
教諭 16名 講師 2名 助教諭 1名  
養護教諭 1名 主事 1名  
用務員 1名 ALT 1名  
教育補助員 1名 特別支援教育支援員 5名  
スクールサポートスタッフ 1名

### (3) 学級編成

学 年	学級	男	女	合 計
第1学年	2	24	17	41
第2学年	2	22	23	45
第3学年	2	20	25	45
第4学年	1	8	16	24
第5学年	1	12	22	34
第6学年	1	14	16	30
特別支援	3	13	2	15
合 計	12	131	121	234

## 2 学校経営の基本構想

- (1) めざす学校像
- ①夢と思いやりにあふれ、すべての子どもが伸びる学校
- ②地域コミュニティとして、地域の活性化に貢献する学校
- (2) 具体的な方策
- ①〇人権尊重の精神に基づくあいさつの徹底と、感性を豊かにするほんもの体験によって、全て子どもが「明日も登校したい。みんなで伸びたい」と思う学校をつくる。
- 〇夢と情熱をもって不断の授業改善に挑み、すべての子どもが考えを深めて「学ぶ楽しさ」「分かる喜び」「もっと学びたい」を実感する授業を行う。
- 〇すべての子どもが目標と見通しをもち、自分らしさを発揮しながら最後までやり抜く活動を工夫して、健康でたくましい心身をはぐくむ。
- ②〇地域を知り、地域に学び、地域に出て、地域に発信、地域をつくる。

## 3 教育目標

- 〇「つよく やさしく かしくく」

## 4 年度の重点目標及び努力事項

- (1) 重点目標
- 〇学校の管理を弱め、児童や保護者の選択を尊重する
- 〇学びの方法を自己選択させ、自分の力量に応じた学習を行う機会を増やす
- 〇持続可能な学びの力を身に付ける
- 〇学びのユニバーサルデザインを意識する
- (2) 努力事項
- ・安心安全な学級集団づくり【ルールとリレーション】
  - ・“かかわる” 機会の提供と次の意欲を引き出す振り返り
  - ・家庭の教育力を高める
  - ・教職員としての在り方

## 5 研究計画

### (1) 研究主題

「誰もが主体的に学ぶ授業を目指して」  
～自由進度学習のエッセンスを取り入れた授業スタイルの活用を通して～

### (2) 主題設定の理由

従来の授業スタイルが限界に来ている。その主な理由は以下の4点である。

- ① 一斉授業の限界
- ② いじめ、不登校の増加
- ③ 授業時数のゆとりの減少
- ④ 従来の問題解決的な授業の問題点
- ⑤ 読解力の低下

このことから、新しい授業スタイルを日常の授業の中に取り入れ、その効果を検証していくこととする。

### (3) 研究内容

〇基本方針：よそ行きの研究授業ではなく、普段の授業にこそ役立つ研修を行う。

①児童が主体的に選択する場面を授業に取り入れる。

⑦課題「何をするか」

教科書、補充問題、ドリル、プリント、キュービナ

⑧学習スタイル「誰とするか」

一人学習、複数学習、教師の助言を受けての学習

⑨場所「どこですか」

教室内、廊下、その他の場所

②日常的な取組で読解力の基礎を培う

⑦音読練習の日常化 ⑧教科書の記述を重視する

③児童相互がかかわる機会を設定する

## 6 ESD推進計画

〇生活科、総合的な学習の時間での学習活動とSDGsの取組を関連付け、実践を行う。年度当初作成する生活

・総合年間計画内に、SDGsとの関連を位置付ける。

〇年度末に実践の振り返りを行い、次年度に生かせるようにする。

〇地域コーディネーターと連携した外部人材の活用を行いながら「ほんもの教育」を重視していく。

## 7 主な行事の予定

- 4月：始業式、入学式、1年生を迎える会
- 5月：避難訓練、体育大会、交通安全教室
- 6月：プール清掃、なかよし集会、5年自然教室
- 7月：なかよし班まつり、終業式
- 8月：始業式
- 9月：6年修学旅行、縦割り班遠足
- 10月：マラソン記録会、避難訓練、かがやき発表会
- 11月：弁当の日、作品展
- 12月：終業式
- 1月：始業式、避難訓練、高学年スキー教室
- 2月：中学年スキー教室
- 3月：6年生を送る会、終業式、卒業式